令和7年度　ひょうご農商工連携ファンド採択事業者一覧　【6件】

	事業名	連携体構成員名（◎は代表者）	事業内容
1	ドローンによるセンシング技術を活用した丹波栗農園向け農薬散布事業	◎白鶴ファーム株式会社（丹波篠山市） 株式会社うはら商店（丹波篠山市）	白鶴ファーム㈱と肥料農薬販売会社の㈱うはら商店が栗農園でドローンを活用した農薬散布を行うサービスを目指す。ドローンでの農薬散布は水稲を対象としたものが中心だが、栗農園での農薬散布には複雑な起伏や立体的な地形のセンシングが必要となる。センシング用ドローンと地形解析ソフトを使って地形をデータ化をして丹波栗農園向けのサービスを開発する。
2	丹波さんなんリゾットで地域活性化	◎合同会社ナカニシ（丹波市） 丹波からふるファーム（丹波市）	農産物の加工及び販売業者である（同）ナカニシと農業者である丹波からふるファームが丹波市山南町産のリゾット米と有機野菜を使用し、リゾットの加工食品（レトルト食品）を開発する。
3	神戸圏域の漁場で収穫される、シラスの常温保存商品の開発	◎株式会社海空（ウミゾラ）（洲本市） 神戸市漁業協同組合（神戸市）	映像制作会社である（株）海空と神戸市漁業協同組合が連携しシラスの常温保存商品の開発を目指します。現在、冷凍、冷蔵技術によるシラスの商品はあるものの、常温保存商品が確率出来れば、これまで流通出来なかった地域へ届ける事が出来、シラス漁獲高全国№1の兵庫県のシラス商品を広める事ができます。
4	自家ブランド「播州牛」のブランド力を強化する新商品を開発し、10次産業化の取組を強化する事業	◎株式会社ＫＫフーズ（姫路市） 株式会社神戸井相田牧場（加古川市）	食肉加工、販売業者である（株）KKフーズと畜産業者である（株）神戸井相田牧場が連携し、（株）神戸井相田牧場の自家ブランド「播州牛」のブランド力を強化する為、肉加工品「塩麹漬け和牛（仮称）」の開発を行います。
5	インバウンド外国人向け、飲食店における「日本茶体験」提案事業	◎グラム（芦屋市） 株式会社仙霊（神崎郡）	お茶のコンサルティング業であるグラムと茶葉の生産者である（株）仙霊が連携し、兵庫県産の茶葉を使用したインバウンド外国人向けのアレンジティを開発します。ターゲットはアジア圏+英語圏のリピート訪日している高所得者層を顧客とする個人飲食店への販売を想定しています。
6	竹資源循環により栽培された兵庫県産有機甜菜と有機パッションフルーツを使用した発酵調味料（コンブチャドレッシング）の開発	◎Hawaiian Kombucha合同会社（ハワイアンコンブチャ）（神戸市） あまくぼ農園（三田市）	発酵飲料製造業者であるHawaiian Kombucha（同）と農業者であるあまくぼ農園が連携し、パッションフルーツを使用した発酵調味料を開発する。生産する農場には放置竹林の竹をチップや炭にした土壌改良材を使用し、本州ではほとんど前例のない冬期に収穫する有機JAS認証のパッションフルーツを栽培する。